

里ナビ研修会 in 山口

秋吉台草原の維持と持続可能な利用を考える

日時 2009年2月7日(土) 集合9:30 解散16:00
 会場 秋吉台科学博物館(山口県美祢市)
 活動団体 秋吉台草原ふれあいチーム



里ナビとは

里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。人々は、里地里山から薪などのエネルギーや建材などの素材、食料などを手に入れ、同時にたくさんの生きものが生息できる共生の場を守ってきました。日本人の原風景をなし、心のゆたかさを育んだ里地里山が、全国各地で荒れています。それにともなって日本の生物多様性がそこなわれ、土砂災害や農業への鳥獣害被害なども起きています。

里地里山の大切さを学び、里地里山を守るために、住民をはじめ多様な主体による計画づくりや都市住民のボランティア参加などの具体的な方法を考え、提案します。

「里ナビ」研修会は、全国10カ所で開催地の状況や課題に合わせて専門家を交えながら実践的な保全再生計画づくりや作業技術を向上させるための研修を行います。これから里地里山のボランティアをやってみよう、里地里山の保全再生活動を行っている団体等、地域のリーダー、地方自治体の担当の方々にお役に立つよう、地域の保全活動団体等とともに企画しました。里地里山の生態系を保全するための活動計画づくり、都市との交流など、新たな活動のきっかけづくりのために、ひとりでも多くの方々のご参加をお待ちしています。

■参加方法

参加費無料。先着申込制です。定員になりましたら締め切らせていただくことがあります。電話、FAX、電子メールでお申し込みください。参加日時、お名前、参加者数、連絡先(電話、FAX、電子メールのいずれか)をお知らせください。

ホームページからも参加申し込みができます。

里ナビ <http://www.satonavi.go.jp>

■お問い合わせ・受付先(里ナビ事務局)

財団法人水と緑の惑星保全機構・里地ネットワーク事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 3F

TEL 03-5404-4846 FAX 03-5404-4847 E-mail h20@satonavi.go.jp

主催：環境省自然環境局 共催：秋吉台草原ふれあいチーム、秋吉台科学博物館 後援：美祢市教育委員会

西日本の草原はもともと牛の放牧地として形成された環境が多い中、秋吉台の草原は、採草地として維持されてきました。定期的な草刈りと野焼きに伴い、持続的な資源利用のもとで農業が営まれてきました。美しい景観、草原独特の草花が育つなど、生物多様性上の視点からも重要な機能を果たしています。

しかし、農業様式の変化によりこのような草原は減少しつつあり、西日本では秋吉台、島根、阿蘇などで保全の取り組みが行われています。温暖湿潤な森の国・日本において、草原の保全は多大な労力を必要とし、保全が難しい状況です。

この研修では、秋吉台での取り組みから、ヤブ化しつつある草原の復元とそれに関わる調査について、また、農業者・市民への情報提供と、草原を保全しながら利用する方法を一緒に考えるための研修を行います。

■スケジュール

9:30 開会・趣旨説明

10:10 報告「秋吉台草原の現状と秋吉台草原ふれあいプロジェクトについて」

荒木陽子(プロジェクト副代表)

田原義寛(プロジェクト農業利用班長)

スライド「秋吉台草原の野花」

松井茂生(プロジェクト副代表)

11:00 講義「西日本における草原保全の意義と手法」

高橋佳孝(独)農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター研究員)

12:00 昼食

12:45 移動

13:00 現地視察(長者ヶ森付近から帰り水手前のドリーネ耕作地、草原の保全状態と利用)

14:30 総括および討論会

16:00 終了

■持参品

昼食、軍手、雨具、筆記具

■集合と交通

電車・バス利用の場合

「秋芳洞バスセンター」集合9:00

「新山口駅」からバス30分「美祢駅」からバス20分

自家用車の場合

9:20までに秋吉台科学博物館

■その他

弁当希望の方は、申込時にご連絡ください(700円)

里なび研修会

里地里山の保全再生と生物多様性



里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。人々は、里地里山から薪などのエネルギーや建材などの素材、食料などを手に入れ、同時にたくさんの生きものが生息・生育できる共生の場を守ってきました。日本人の原風景をなして、心のゆたかさを育んだ里地里山が、全国各地で荒れています。それにもなって日本の生物多様性がそこなわれ、土砂災害や農業への鳥獣害被害なども起きています。

里地里山の大切さを学び、里地里山を守るために、住民をはじめ多様な主体による計画づくりや都市住民のボランティア参加などの具体的な方法を考え、提案します。

里なび研修会は、全国10カ所で開催地の状況や課題に合わせて専門家を交えながら実践的な保全再生計画づくりや作業技術を向上させるための研修を行います。これから里地里山のボランティアをやってみたい方、里地里山の保全再生活動を行っている団体等、地域のリーダー、地方自治体の担当者の方々にお役に立つよう、地域の保全活動団体等とともに企画しました。里地里山の生態系を保全するための活動計画づくり、都市との交流など、新たな活動のきっかけづくりのために、ひとりでも多くの方々のご参加をお待ちしています。

平成21年2月には、東京で全国版のセミナーも開催します。

平成20年度 全国10カ所で開催します。

(北海道、宮城県、新潟県、石川県、群馬県、滋賀県、兵庫県、山口県、愛媛県、福岡県)

主催 環境省自然環境局 事務局 (財)水と緑の惑星保全機構 (里地ネットワーク)



里なび研修会～里地里山の保全再生と生物多様性



東京セミナー

平成21年2月20日(金) 13:30～17:00

南青山会館(東京都港区)

全国10カ所の研修をふまえて、里地里山保全再生の計画づくりやボランティア参加などについて考える場です。たくさんのご参加をお待ちしております。内容の詳細は決まり次第、里なびホームページでお知らせします。

参加方法

参加費無料。

先着申込制です。定員になりましたら締め切らせていただくことがあります。電話、FAX、電子メールで下記「お問い合わせ・受付先」までお申し込みください。

参加日時、お名前、参加者数、連絡先(電話、FAX、電子メールのいずれか)をお知らせください。

ホームページからも参加申し込みができます。

里なび <http://www.satonavi.go.jp>

お問い合わせ・受付先

財団法人水と緑の惑星保全機構・里地ネットワーク事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 3F

TEL 03-5404-4846 FAX 03-5404-4847 E-mail h20@satonavi.go.jp

場所	日程	内容
群馬県 桐生市	11月21日(金)	昆虫の森づくりの現場から学ぶ、昆虫の生息環境の場としての里山管理と、人と昆虫のふれあいの場としての里山利用を考える研修会
宮城県 大崎市	11月28日(金)	化女沼・蕪栗沼と周辺里地里山の一体的な保全活用を多様な生物の生息環境と地域の暮らしから見つめなおす計画策定研修会
北海道 七飯町	12月4日(木) 12月5日(金)	大沼周辺の里地里山の一体的な保全活用を多様な生物の生息環境と地域の暮らしから見つめなおす計画策定研修会
石川県 金沢市	12月13日(土)	アメリカザリガニ等の外来種から里地里山の生態系を守る方策を、駆除・拡大防止という視点から考える研修会
兵庫県 川西市	12月20日(土)	地区に伝わる伝統的里山管理の手法、台場クヌギの萌芽更新と、台場クヌギやエドヒガンを保全していくための市民調査手法の研修会
新潟県 佐渡市	12月23日(火)	トキの野生復帰のこれまでを振り返り、今後どのような里地里山をつくっていけばよいか、具体的な活動計画の策定方法を学ぶ研修会
福岡県 黒木町	1月10日(土) 1月11日(日)	竹林の伐採を例に、里地里山の保全と地域の伝統文化の保全との連携により、それぞれを活性化させるための研修会
山口県 美祢市	2月7日(土)	秋吉台を事例に、森林に遷移しつつある草原の復元方法と草原調査の方法を学び、草原を保全しながら利用する方法を考える研修会
愛媛県 松山市	3月1日(日)	農山漁村の暮らしと文化を生態系の視点から捉えなおし、人間と生物のバランスが取れた里地里山づくりを進めるための研修会
滋賀県 東近江市	3月8日(日)	ナラ枯れの最新知見を学びながら、現場でできる対策を専門家とともに、現地で考え、学ぶ研修会

